

DAIDO CAMPUS

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY

2001.1.20 No.35

編集・発行 大同工業大学社会交流センター

〒457-8530 名古屋市南区滝春町10-3

TEL 052-612-6193

No.35



初日の出 本館14階展望

CONTENTS

特集1 本館・大型実験棟竣工

特集2 各種競技会入選

キャンパスライフ

吹奏楽部

15周年記念OB合同定期演奏会

同窓生だより

DITスポーツフェスティバル 他

TOPICS

澤岡学長、高度6000mで無重力体験

人間-生活環境系会議「奨励賞」受賞

国際交流

アメリカ詩人テス・ギャラガー氏来訪

海外留学

アンテナ

澤岡学長「桜台高校」で講演

大盛況、大同工大冠映画試写会

新刊著書を語る 他

研究室を訪ねて

ゴビの散歩道

一番近くて、遠い国

就職状況とアドバイス

桃介を訪ねて(最終回)

INFORMATION

季刊

大同工大キャンパス

DAIDO INSTITUTE OF TECHNOLOGY
新春号 2001
JANUARY

1

新キャンパス 本館



大学新キャンパスは、大同校舎を滝春キャンパスへ集約するという整備計画の第1期工事でJ V(大成建設・大林組建設共同企業体)により平成11年7月15日の起工式から始まり僅か1年5ヶ月余の工期をもつて竣工するという大幅な工期短縮が図られました。

12月22日(金)14階建本館1階フロア(事務室)において、田中理事長、澤岡学長、大同特殊鋼株式会社代表取締役会長 富田寛治氏をはじめ250余名の来賓、教職員、学生代表者の出席のもと盛大に竣工式が執り行われました。



新キャンパスは大学中期基本計画に教育環境整備の一環として大同校舎、滝春校舎、白水校舎に分散しているキャンパスを滝春地区に統合集約する「21世紀に向けて～大同学園ニューフロンティア21計画」が平成8年12月に策定されました。コンセプトは「明るく、学生の集えるキャンパス」を基本におき、学生と教職員、学生同士のスキンシップができる環境づくりを第1に考え、建物の配色は講義棟「黄色」、ゴビーホール「赤色」、本館には「青色」と三原色を基調として使われ、明るいイメージをだしました。

平成11年3月1日、元学園理事であった石井健一郎氏のご寄付により石井記念体育館が竣工したのを皮切りに平成12年9月13日、第1講義棟・ゴビーホール(300人講義棟)が竣工、そしてこのほど本館・大型実験室棟の竣工を迎えることができました。

12月23日から26日にかけて事務部門の引越しが行われ、教員の研究室、実験室などは今年の3月末日までにほぼ全室が引越する予定です。

新・大型実験棟が竣工



本館

14階建(14,700㎡)1・2階 管理・事務室および学生ホール。3～13階 教員研究室、実験室、大学院研究室など。14階 同窓会・後援会室、多目的に利用できるラウンジ、交流室、日本間の談話室が設置されています。



大型実験棟

3階建(6,300㎡)1階は透過型電子顕微鏡室など。2階は大型実験設備の他工学実験室。3階は物理実験室、化学実験室、150人収容可能な大製図室が整備されています。



玄関の壁画

[知宮の譜] 加藤令吉



[レインツリー] 澤岡泰子



野外ステージ・中庭

キャンパスには、23種類の樹木が植樹され、学生・教職員が集う広場があります。

2000年度 各種の競技会で入選

日本建築学会設計競技 花井奏達くん「タジマ奨励賞」受賞



2000年度支部共通事業 日本建築学会設計競技のテーマ「新世紀の田園居住」の全国審査会が10月30日(月)に開催され、花井奏達君(建設工学科建築学専攻4年)の応募作品が見事「タジマ奨励賞」の栄に輝き、11月23日(木)建築会館ホール(東京都港区芝)において表彰されました。

作品は、過疎化に悩む農山村が芸術家の芸術活動を支援するため積極的に工房誘致をしているが、伝統的な文化等に関しては極端に閉鎖的で、こだわりを持っている村人と移

住者(芸術家)との融合を如何に図るかをコンセプトにおいた。

農山村の祭事、郷土産物販売・見本展示や芸術家の体験講座等に幅広く利用できる居住として、四角形のアルミ製パイプを骨組みにエアシートで覆った仮設居住を考案した。カラフルな色彩をした仮設居住は、村のいたるところで花が咲いたり萎んだりして、さながら花畑を連想させ、街人が気軽に立ち寄ることができて貴重な現金収入の場の提供となり農山村の環境破壊に繋がらないのが認められた。

あと一分、滑り込みセーフ

連日、不眠不休でやっと書き上げたのは締切期日9月20日の当日となった。「間に合わない!!」遅いプリンター印刷に苛立ちが募る。作品はA1サイズ2枚にして提出することになっているが、A1サイズのプリンターがない、A4サイズのプリンターで8枚印刷し繋ぎ合わせてA1サイズにしなければならない。応募

条件にはA1サイズで2枚が指定されているが用紙の種類の違いには記述がない。「残り1枚分は用紙を普通紙に変えてプリンター速度を上げよう」東海支部事務局(中区栄、昭和ビル5階)の締め切り時間5時に残り30分余で完成させた。提出までの時間との戦いが始まった。友人に地下鉄金山駅まで家用車で送って頂く、この先は車より地下鉄の方が早いと計算するが、ホームに駆け込んだその時、無情にも電車の扉は閉まり出発寸前だった。ホームで地団太を踏む、余儀なく次の到着列車を待つ時間ロスをする。「車の方が速かったか」栄の駅に着くなり、他の乗降客に閑知することなく無我夢中で走る。身体中、汗が流れる。友人の車が一足先に昭和ビルに着いた。走って来た花井君と一緒に事務局に駆け込んだのは残り1分まえだった。

●喜びの声:「馬鹿ばっくて、誰もやらないものを考案して認められたのが嬉しい」副賞の10万円は如何しますが「大学院に進学するので…」

第4回 ロボットグランプリ 「からくりロボット競技」で特別賞に輝く



長谷川君

武田君

(社)日本機械学会主催「第4回ロボットグランプリ:からくりロボット競技会」が11月4日、とどろきアリーナ(神奈川県川崎市)で開催され、大嶋研究室の武田進也君、長谷川文仁君らが制作した「からくりロボット」が「特別賞」に輝きました。

両君はこの日のために3年生の3月頃から準備に取りかかる。どんなロボットにするか構

想を練るために科学館、産業技術館、ロボットに関する各種の産業技術展などは隈無く見てまわる。7月に入りやっど「オーケストラ・ロボット」を作ることになる。団員は指揮者、ハンドベル、バイオリン、コントラバス、ドラムの奏者らで総勢12機(名)。動力源はスチームエンジンを使用する。いよいよ制作の段階で長谷川君はアメリカ短期留学に、武田君心細く一人で制作にかかるが巧くできない。長谷川君が戻って来て不安が解消し両君のエンジンに火が付く、なんとカピデオ予選用のロボットは悪戦苦闘の末に完成させる。10月23日、本戦出場の朗報が入るが、電気エネルギーを使わずにオーケストラの音を奏でる妙案がない。結局、カセットテープは電池を使用することにして本戦当日を迎える。

他大学等の出展ロボットを見て驚きと不安

が募る。「我々の作ったロボットは、規定通りの寸法なのに、一体このでっかいロボットは...」出る場所を間違えたのか。「規定はどうなるんだ」出来映えは他のロボットに引けを取らない自信はあるが、貧弱すぎる。

音に電池を使い違和感を拭えない貧弱なロボット。両君の頭の中は真っ白。

審査発表、「オーケストラ・ロボット、特別賞」との発表、我に返った両君の笑顔が一段と映えていた。



第17回 JIA東海支部建築設計競技 小林哲也くん「銀賞」、長尾正誠くん、佐々木健二くん「銅賞」受賞



日本建築家協会東海支部主催 朝日新聞社後援の建築設計競技テーマ「田舎に暮らす」に応募した小林哲也君(建設工学科建築学専攻4年)が「銀賞」、長尾正誠、佐々木健二の両君は「銅賞」に入選し、12月2日(土)朝日ホール(中区栄)においてそれぞれ受賞しました。今年の学生の部は、金賞の該当者がなかったが、応募45作品で9作品が

入選し、そのなかで3作品が本学の学生が受賞の栄に輝きました。

銀賞を射止めた小林君の作品「S.O.S.～SAVE OUR SEA～」は、夏以外の季節においても多目的に利用できる海の宿泊施設。渥美半島赤羽海岸に産卵にくるアカウミガメに着目し、地元の子供達と都会の子供達とが共同生活をして、海岸の清掃、ウミガメの保護活動など、子供達に海の自然環境を守る大切さを通して交流が図れる宿泊施設。ガラス通路で繋がれた構造体で、遠くから望むと波をイメージした建物となっている。「田舎」を海辺(漁村)に設定し、環境問題とリンクさせたのが評価された。

提出三日まえ、
完成品が先生から「駄目」

えっ! 駄目ですか。全身から力が抜けていくのが分かるほど、虚脱感に襲われる。実は反論するほどの体力は既に使いはたしていた。

当初、建築学会のコンペに応募予定していたが、間に合わなくて今回のコンペに急遽応募

変更した。テーマが類似しているのが幸いとなったが、山村へ写真を撮りに駆けずり回った。建物のイメージ作りをするために何度も写真と睨めっこするが、なかなか浮かんでこない。締切日10日前になり「田舎と云う定義は何だろう」と辞書で調べる。「都会からはなれた地方、生まれ育った地方」であれば山村でなくても海辺でもよい。アカウミガメの保護をテレビで放映していたことを思い出す。「よし、海辺にしよう」インターネットで渥美半島赤羽海岸に産卵にくるアカウミガメに着目した。その後は、大学研究室で徹夜の繰り返しでやっと完成に漕ぎ着けたのだ。

海辺で子供達が戯れているイメージを浮かべて再度、考え直す。完成。先生から「いいだろう」と言われたとき、眼が潤んだ。

●喜びの声: 報われてうれしかった。あの時、「駄目」と言われて苦労したことが賞に繋がったと思います。

銅賞: 長尾正誠君の作品: 「木霊」

佐々木健二君の作品:

「タンポポ境界プロジェクト」

循環式トイレ「モナレット」デザイン競技 原口貴幸くん「優秀賞」受賞

クメテック株式会社(豊田市) 鬼頭鋼材株式会社(東海市)が開発した循環式トイレのデザインコンペが本年度も行われ、12月8日(金) 本学建設工学科設計製図室において、

横田鬼頭鋼材株式会社専務取締役様出席のもと表彰式が行われました。

優秀賞・入選作品は、2001年北九州博覧祭での出展トイレデザインに利用されます。

優秀賞: 原口貴幸君

入選: 岩田光洋君、川原知夏さん、青山敬子さん、永島幸子さん
(以上建設工学科建築学専攻3年)

D.I.T.
マスコット
愛称募集

ディットちゃん
で～す。

大同工業大学60周年記念行事の一環として「D.I.T.マスコット」愛称募集をしたところ、10月31日に締め切れ、45の愛称が寄せられました。このほど厳選な審査が行われ「ディットちゃん」と命名されました。名付け親になって下さった皆さん有難うございます。

審査結果(敬称は省略させていただきます。)

特選1名(賞状および副賞 図書券3万円)

小島 英也(名古屋大谷高)

入選10名(賞状および副賞 図書券1万円)

鶴飼 妙子(桜台高校「マメット」)

波田野真美(日比津中「Mr.そら」)

他8名

審査結果: 特選・入選者の方には本学より連絡させていただきました。



吹奏楽団15周年 記念演奏会

澤岡学長から 花束が贈られる



12月24日(日) 本学吹奏楽団創部15周年を記念してOB合同定期演奏会が愛知県勤労会館で開催されました。部シンフォニックステージ、部ポップスステージそして部OB合同ステージが生まれ、「センチユリア、オーメンズ・オブ・ラブ、風紋など」10曲ほど演奏し、聴衆から拍手喝采を受けました。

演奏の始まるまえに、澤岡学長から篠田団

長に15周年を記念して花束が贈られたのをはじめ、司会者に毛利香織フリーアナウンサーのナレーションがあるなど演奏会は盛況のもとで幕を閉じることができました。

篠田団長のことば: 誠に有難ございます。吹奏楽団定期演奏会が15回という記念すべき演奏会を迎えることができましたことは、団員たちの日頃の練習はもとより、皆様方の並々ならぬご支援のおかげと感謝しています。

D.I.T. SPORTS FESTIVAL 2000

10月24日、25日の二日間にわたって秋の祭典「体育大会」が開催されました。あいにく雨のため中止になったソフトテニス以外のバスケットボール、ソフトボール、卓球、サッカー、ドッチボールの6種目に熱戦が繰り広げられました。

バスケットボール

優勝 OUTSIDE

2位 FBI

3位 飲茶のたれ

ソフトボール

優勝 学生室

2位 まーしー

3位 B-MAX君

卓球

優勝 Shooting bubbles with Flying Distance

2位 MFO-G

3位 大祭とKATSUTA

サッカー

優勝 田中こう丸取る

2位 サイババ

3位 99E

ドッチボール

優勝 TEM 葉月&加奈

2位 みのりかわのりお

3位 ほもかず?

同窓生だより

機械工学科卒業生が 一級建築士に



86 M 201 増山新作さん

私が卒業したのは、今から約10年前の事になりますが、当時は音楽研究部に所属しバンド活動に精を出していたものでした。

就職して数年たった頃、能力を伸ばす事と自分をアピールする為に自分の仕事に関係があり、以前から興味があった建築士を取得しようと思いました。しかし私の場合機械科を卒業していた為、受験資格としてまず2級を取得後、4年の経験を経て初めて1級への受験資格が得られるというものでしたので、この時ばかりは建築科の友人を

うらやましく思いました。しかしものは考えようで機械設備にも精通した建築家として自分の独自性を発揮したいと考え今日まで努力して本年ようやく念願の1級建築士試験に合格する事ができました。在学中は、勉学も決して好きな方ではなくどちらかというとギターとパチンコと麻雀に明け暮れており1級建築士など決して手の届かない遠い存在と考えておりましたが、夢は必ず実現できると実感する事ができました。

学生のみなさんも目標を大きくもって社会に飛び立って行って下さい。

第37回 錦杯学内レガッタ大会

一般の部で 山田錦が4連覇を飾る

クラブ委員会主催の本学伝統の学内レガッタ大会が11月12日(日) 庄内川ポートコースで出漕48クルーが競った。

午前中は、今にも雨が降り出しそうであったが、午後からは暑くなる程、上天気になった。恒例となった堰堤テントでは、バーベキューにビールとお祭り騒ぎで声援をおくっていた。



一般の部

優勝 山田錦 2位 大同工大筋肉室

3位 ふき2号

クラブの部

優勝 ピンクエンジェル(DMCS C)

2位 チーム局員(空手道部)

3位 チームエロぽっか(自動車部)



クラブ活動報告

硬式野球部



愛知大学野球 秋季リーグ戦3部優勝

愛知大学野球連盟主催の3部秋季リーグ戦が、9月2日から10月20日にかけて開催され、見事、優勝を果たしました。10月28日から31日に行われた2部との入れ替え戦も、名古屋市立大学を破り初の2部昇格を決めました。

大同工大	24	2	豊橋技大
大同工大	20	0	豊橋技大
大同工大	17	9	愛知産大
大同工大	12	2	愛知産大
大同工大	14	4	名古屋外大
大同工大	11	5	名古屋外大
大同工大	2	8	南山大
大同工大	3	2	南山大
大同工大	10	9	南山大
大同工大	14	4	淑徳大
大同工大	9	10	淑徳大
大同工大		不戦勝	淑徳大
入替戦			
大同工大	4	16	名市大
大同工大	9	4	名市大
大同工大	9	6	名市大

サッカー部

東海大学サッカー 秋季リーグ戦4部優勝

東海サッカー協会・愛知県サッカー協会共催の東海地区4部秋季リーグ戦22チームによって試合が9月17日から10月29日にかけて行われ、見事優勝し、3部昇格を果たしました。

大同工大	10	0	豊橋創造大
大同工大	9	2	岐阜聖徳大



サッカー部のメンバー

大同工大	3	1	豊田高専
大同工大	4	0	名市大
大同工大	5	0	南山大
大同工大	7	2	朝日大

空手道部

第9回 三重県大学・高専空手道選手権大会

女子個人形の部で 森田知華さん優勝

11月26日、皇学館で行われた第9回三重県大学・高専空手道選手権大会団体形の部で準優勝を、女子個人形の部では森田知華さんが昨年に引き続いて優勝を果たしました。

団体組手 (出場12校) 4位	
個人組手 (出場男子79人女子8人)	
99 M	廣瀬晴夫 16位
99 E	三階繁輝 16位
98 C	森田知華 3位
団体形 出場13校 準優勝	
個人形 出場男子44人女子13人)	
00 A	夏山洋一 4位
98 E	北川彰一 6位
99 M	廣瀬晴夫 7位
98 C	森田知華 優勝

陸上部

東海シティマラソン大会 上位入賞を果たす

12月10日(日)東海市で行われた第16回東海シティマラソン大会の10km種目、出場選手206名の健脚で競われた結果、99 C石川廣大



石川君

大森君

君3位、00 M大森弘之君4位に入賞しました。

陸上部は、昨年の7月に同好会から部に昇格し、今後の活躍に期待。

漕艇部

中部学生新人選手権大会 フォアで優勝

中部学生漕艇連盟主催の第29回中部学生新人選手権大会が10月28日、29日愛知池コース(西加茂郡東郷町)で開催され、男子舵手付フォアで見事優勝を果たしました。

優勝 大同工大(99 M上原・99 M伊藤・99 E柿沢・99 E原・00 M鳥山)
2位・南山大 3位・金沢大 4位・静岡大



自動車部

- 夏季公開講座「溶接技能講習会」-

溶接技術検定試験で 加藤誠司君ら6名が合格

8月21日から14日間、工作実験実習室、社会交流センター共催の公開講座「溶接技能講習会」が開催され自動車部員7名が工作実験実習室の蒸し暑い部屋のなか、電気アークで熱を発生させて2000 を超える温度で鋼板の接合する実習に取り組みました。

9月14日、中部地区溶接技能検定委員会学科試験と実技試験が実施され、講習会にあまり出席が出来なかった1名を除く6名の部員が見事合格しました。

97M加藤誠司君、河野大作君、中村圭作君、長屋勇君、99M藤田伸也君、吉川友章君

レーシングカート部

2000S1 カートレース 瑞浪シリーズで3位入賞

JAF公認 カートレース瑞浪シリーズの最終戦に出場選手33名が12月3日(日) 瑞浪レイクウェイで競技が行われ、99 M磯貝真典君が3位に入賞を果たしました。

澤岡学長、高度6000mで 無重力体験



毎日新聞社提供

無重力状態が体験できる飛行実験に、12月8日に澤岡学長はダイヤモンドエアサービス(三菱重工の子会社)の三菱双発ジェット機「MU300」に搭乗し、重力のない世界を初体験しました。

名古屋空港を離陸して、渥美半島沖の遠州灘上空。高度6000メートルで時速600キロに達すると、機首を45度まで上げて急上昇する。2Gの重力がかかる。20秒後、操縦桿を戻しエンジン出力を絞ると機体は慣性によって、投げたボールのように放物線を描いて上昇し、減速して降下する。「内臓が喉の方に上がってくる」機内の物がふわふわと漂う、20秒間の無重力状態。これを10回体験飛行した。「2度、3度と体験するにつれて内臓の上昇を抑える要領が分かったよ」と学長。その後は1月1日付の毎日新聞の記事を見て下さい。

人間 - 生活環境系会議

光田 恵講師、渡邊慎一講師が『奨励賞』受賞

建設工学科光田 恵講師および渡邊慎一講師が、11月5日(日)人間 - 生活環境系会議から『奨励賞』を受賞されました。これは40歳以下の若手研究者個人に対して贈られるもので、今回が第1回目です。

論文誌「人間と生活環境」と「Journal of the Human - Environment System」に、過去3年間に掲載された論文の中から内容が特に優れていると認められた論文の執筆者を対象とし、日ごろの研究活動の成果も対象とし、総合的に選考されます。

光田 恵講師 受賞対象論文

「A Comparison of Odor Evaluation Indicators Based on Odor Threshold Value and Those Based on Unpleasantness of Body Odor, and Their Effectiveness in the Management of Indoor Air Quality」です。臭気は、室内空気質に影響を及ぼす要因の1つですが、臭気に関して評価指標として統一されたものがなく、また室内においてどこまで臭気を低減・除去すればよいかという基準値も定められていません。この論文は、室内の臭気の評価指標として国内外で主に用いられている「嗅覚閾値を基準とした指標」と「人間の体臭を基準とした指標」について両者の関係を明確にし、それぞれの指標としての有用性を考察したもの



です。また、両指標を用いて、室内における臭気の基準レベルを求めています。

現在、わが国において、室内の空気質の分野では、もはや社会問題となっている「シックハウス」の原因といわれる「ホルムアルデヒド」や「VOC(揮発性有機化合物)」に関する研究が盛んに行われています。こうした空気質の問題は、人が刺激などを感じる場合もありますが、知らず知らずのうちに健康が害されているということも考えられるため、建築環境工学の面からのみのアプローチでは解決しきれないことがあり、非常に難しい問題といわれています。欧米諸国の室内空気質の考え方に、「知覚室内空気質(人が感じることができる空気質: 快適性の面からのアプローチ)」の重要性を取り上げ、においや刺激などが感じることでできる汚染源を対象として室内の基準値を定める方法が用いられています。しかし、各国で評価の指標が統一されていないことから、各国でとられたデータが生かされないことがあります。受賞対象となった論文では、臭気の評価指標として主に用いられている指標を2つ取り上げ、両者の関係を明確にすることで、異なる指標で評価された場合でもその対応関係を把握することができるようになりました。臭気の評価指標に関する研究は、臭気問題の解決を行うためには、重要な研究であるといえます。今後は、室内の様々な臭気の具体的な対応策について研究を進めていく予定です。

渡邊慎一講師 受賞対象論文

「Indication and Evaluation of Thermal Effect of KOTATSU on the Human Body」です。



この論文は、日本の伝統的な採暖器具である炬燵の温熱的な効果を被験者実験により初めて定量的に明らかにしたものです。またこの中で、炬燵などの不均一な温熱環境を総合的に評価できる「炬燵作用温度」という温熱指標を新たに開発しています。この温熱指標は、炬燵に限らず、不均一な温熱環境の評価指標として、その幅広い応用が期待されています。

受賞対象論文の研究成果として、各気温段階における炬燵の温熱効果が気温換算された数値として示されました。例えば、気温10の寒い部屋で炬燵を使用した場合、その温熱効果は8となり、体感温度としては気温18の部屋にいるのと同様の効果があることになりました。これらの研究成果は、日本の伝統を活用しながら、生活者自らが個々に快適な生活環境を構築してゆく生活スタイルを科学的にサポートする貴重なデータです。

さらに地球環境問題やエネルギー問題が叫ばれている現在、膨大なエネルギーを消費し空間全体を快適温度に制御する空調に依存した生活から、必要最小限のエネルギーと自然のポテンシャルを利用した生活にシフトする方向が模索されています。このような視点からも炬燵は今後さらに重要な役割を担うものと考えられます。

国際交流

アメリカ詩人 テス・ギャラガー氏 来訪報告

外国語教室講師 橋本博美

平成12年度 財団法人市原国際奨学財団研究助成金と本学研究奨励金を得て、10月22日(同氏急病のため到着が1日遅れた)から11月2日までの約2週間、現代アメリカの優れた詩人の一人として活躍中であるテス・ギャラガーさんを、日本へお招き



橋本 瀬戸内さん テスさん

することができました。私は約10年ほど前から、レイモンド・カーヴァーという小説家詩人を研究しています。カーヴァーは「アメリカのチェーホフ」とも呼ばれ現代アメリカ文学界を代表する作家の一人ですが、12年前に惜しくも50歳の若さで亡くなりました。テスさんはそのカーヴァーの未亡人であり、二人が初めて出会った頃、アルコール中毒のため、作家として人間として死の淵にあった彼に、再び命を吹き込んだ女性としても知られています。

成田到着の翌日、カーヴァー作品の日本への熱心な翻訳紹介である作家の村上春樹氏が、私たちの滞在する東京のホテルまで会いに来てくださいました。3時間あまりの熱のこもった対談の様子は、月刊誌「中央公論」2001年1月号に掲載されています。カーヴァーの文学的パートナーと翻訳家によるこの対談は、9月に出版されたカーヴァーの未発表作品(邦訳「必要になったら電話をかけて」)を研究する上でも、本国アメリカでさえ得られない、重要かつ興味深い資料となるでしょう。テスさんの「無条件の、廣大無辺の愛」こそ「レイ・カーヴァーが

求めていたもの」だという村上氏の洞察に共感を覚えました。

翌日、名古屋・アメリカセンターで開催された朗読講演会は幸い大盛況となり、「カーヴァーとの文学的相互関係」という当事者の彼女にしか語れない興味深いお話しとその独特のオウラに、満場の聴衆が魅了されました。

さらに、京都嵯峨野では瀬戸内寂聴さんとの10年ぶりの懐かしい再開を実現させることができました。(お二人の初めての出会いについては、「大同工業大学紀要」第36号掲載の拙訳エッセイを参照のこと)この対談の様子は「婦人公論」2001年新春号(1月7日発売)に掲載されますが、強い靈感を持った二人の女性作家の、国境や人種を超越した、深く濃密な語り部の一部を是非多くの方々にお読みいただきたいと思います。

大変短い滞在日程でしたが、生きた日米の文学交流という点において素晴らしい成果を収めることができました。この場をお借りして、市原国際奨学財団をはじめご助力を賜りました多くの皆様方に改めて心よりお礼申し上げます。

海外留学

電気工学科教授 大石 弥幸

2000年4月よりイギリスのサウサンプトン大学のISVR(Institute of Sound and Vibration Research)というところに滞在しています。ISVRというのは音響、振動では世界的に知られた研究機関です。そしてサウサンプトンというのはイギリスのほぼ南端に位置する人口20万人ほどの都市です。と言ってもピンとこないでしょうか。ならば、あのタイタニックが出航した港町、またはウッドストックと並んで有名なロックフェスのワイト島の対岸と言えばわかる人も多いと思います。

さて、そんなサウサンプトンの町で暮らすこと8ヶ月、短期の旅行と違っていろいろ



大学のビルには銀行や書店が店を出している

なことが見えてきます。文化や習慣の違いは大きいものと予想しつつも驚きの連続です。イギリスというヨーロッパの中でも長い歴史と伝統を誇る国だと思っていましたが、必ずしもそうではないというもひとつの発見でした。いわゆるイングランドの原型ができたのは今から900年ちょっと前のことです。それ以前は民族の移動もあって、今ここに住んでいる人と昔ここにいた人は必ずしも同じ民族ではありません。日本人が邪馬台国を語るとき、卑弥呼たちは日本語を話していたと想像します。三内丸山の縄文人でも日本語の祖語を話していたのではないかと、彼らは日本人の祖先だという意識を持ちます。ところがイギリスにはそういうものはありません。サウサンプトンの近くに、あの有名なストーンヘンジがあります。これは約3000~5000年前の人々が作ったらしいのですが、イギリスの人にとっては彼らが自分達の先祖だという意識はないようです。

そんな短い歴史のイギリスですが、世界に与えた影響は計り知れないものがあります。なんとといっても17世紀頃からの世界への進出があります。現在それらの植民地はほとんどイギリスから独立しています。それでもイギリスは他のどの国も手に入らなかった宝を獲得しました。



世界遺産に指定されたストーンヘンジ

それは、英語の実質的世界共通語としての地位です。中国語やスペイン語がいくらか多くの人に使われているといっても、やはり公式の場では英語にかないません。私たち研究者にとってもこれは大きい問題です。どんな大発見でも英語の論文で発表しなければ世界的に注目されることはありません。英語をマスターしなければならぬという大きなハンディキャップは、実に不公平なことだと感じてしまいます。しかし、逆にこの壁さえ越えれば日本人も対等、あるいはそれ以上の活躍が必ずできると思います。

それにしても残念なのが日本の英語教育です。私自身、日本で習ったことがなんと非効率的であったかを体感しています。これからも、インターネットを初めいろいろな場面で英語が必要になるでしょう。まずは実用を考えた英語教育を期待します。

澤岡 学長 桜台高校「教育問題懇談会」で講演



11月9日(木) 桜台高等学校PTA主催「教育問題懇談会」の全体会、父母、教職員150余名の参加者のもとで澤岡学長が「多様化する現代の若者が輝くほど変身するとき」と題して講演をしました。「若者は叱るより誉める。これこそが教育

の原点であり、こうした態度を大人が持ち続けければ若者は輝くほどに変身でき、そして社会がうまく回っていくのだと最近になってやっと感じるようになりました」と小学校時代からの体験に基づいた説得ある講演に、聴講した父母から大変参考になりましたと学長の講演に感激していました。

「教育問題懇談会」は桜台高等学校PTA活動の一つとして全体会と分科会があり、熱心に教育問題について父母と教職員が一体となって討議が行われています。全体会の講師には大学教員を始め著名な方々に教育問題に関する講演を依頼し、今年で26回になります。

横須賀中学校のお母さん方 高層棟14階の展望に感嘆!



12月1日(金) 東海市立横須賀中学校「母親学級:家庭教育セミナー」のお母さん24名の方が一日入学をしました。

午前中は、情報処理センターの西村室長から「インターネット」の説明を受けました。「パソコンで何が出来るか」、「ネットワークで何が出来るか」などお母さん方に理解しやすく分かりやすい説明を聞いた後、インターネット体験をしました。一部のお母さん以外は、インターネット体験のない方々で、最初はキーボードにまごついていましたが、センター職員の手助けにより、ホームページを楽しむことができました。

午後は、水野教授のミニ講義「みつめそして理解する」を受講しました。「子供達は今」の講義のなかで、「目まぐるしく変化する思春期の子ども達、どうしたら親の言うことを聞いてくれるでしょうか」について「基礎知識の柱」、「社会性の柱」と「人間性の柱」の3本の柱を大切に、「みつめそして理解して下さい。」との講義に頷いていました。

その後、建設中の高層棟最上階の14階に上がり、南区周辺の展望と、新キャンパスに感嘆していました。役員のお母さんから、「大変立派な大学ですね。是非、来年度もお願いしたい」と申し入れを受けました。東海市立横須賀中学校「母親学級:家庭教育セミナー」は、今回で3度目の来学でした。

冠映画
試写会

「シックス・デイ」、 「13デイズ」に大盛況

本学協賛冠映画試写会(主催 名古屋テレビ放送、朝日新聞社)東宝東和配給映画「シックス・デイ」が12月6日(水)午後7時半からエンゼル東宝で、日本ヘラルド映画配給映画「13デイズ」が12月7日(木)午後6時半から名古屋市芸術創造センターにおいて、それぞれ上映されました。

「シックス・デイ」は、アーノルド・シュワルツェネッガー主演映画で、遺伝子学と生体工学が高度に発達したため、地球的規模で生活の質が一変する。「人間は人間を造り出しはけない」とする「6d法」を制定するが、飽くなき人間の欲望によって破られてしまう。仕事を終えて帰宅すると、そこにもう一人の自分がいる。家族と自分自身の存在を奪い返すために闘う一人の男の物語。

「13デイズ」は、ケビン・コスナー主演映画(制作兼務)で、世に言う「キューバ危機」の真相に鋭く迫ったサスペンス映画。当日の試写会では、上映前に阿南東也愛知県立大学助教授から、時代背景の講演が30

分ほどあり、世界を救った3人の男達の苦悩した13日間がよく理解することができた。

両映画とも、正月上映映画とあって、応募者は大盛況で「シックス・デイ」3600余名、「13デイズ」4800余名から、それぞれ抽選に当たった入場者で会場は満席でした。



富木島中学校の生徒 「体験学習」で来学

東海市立富木島中学校では、「総合的な学習」の授業の中で、様々な施設・学校を訪問し、見学・取材をまとめて発表するという体験学習が行われていて、男子生徒6名が11月22日(水)午後2時半から5時半頃まで、予定していた見学時間を1時間余り延長するなど熱心に学内見学をしました。

質問・見学内容は、大学食堂のメニュー、学校の設備、部活動、校(学)則について、担当者から分かりやすく説明を聞いて後、学生食堂・売店・情報処理センター・図書館・体育館などを見学をし、熱心にメモをとったりインスタント・カメラで学内を撮影をしながら、中学校とは規模の違いに驚き感嘆の声があがっていました。生徒の一人は自販機の飲み終えたカップ、ペットボトルを返却すると返金され、周辺に散乱しないシステムに感心していました。



NYAC名古屋支部 21世紀宇宙の集い



名古屋市広報番組で日本宇宙少年団名古屋支部(団長 森田王作)の活動が取り上げられました。宇宙少年団名古屋支部では、この機会にテレビ放送を通じて広報することになり、平成13年1月6日(土) 本学滝春校舎において新年会と番組制作の撮影が行われました。

当日は少年団員・関係者らで130余名が集まり、澤岡学長から「無重力の世界など」のミニ講義(ゴビーホール)水ロケット教室(滝春グラウンド)大嶋助教授から「ロボット教室」(本館2階フロアー)が行われました。その後、新年会のパーティが本館14階で開催され、撮影も順調に終わりました。

少年団らは水ロケットの打ち上げに、凍てつく滝春グラウンドでの寒さにもめげずに歓声を上げて満足していました。

放映日は、東海テレビで2月2日(金)午前11時10分から15分間「集まれ 宇宙大好き少年少女 宇宙少年団」(仮題)として放送されます。

本学は、日本宇宙少年団名古屋支部の南分団(団長 水野教授)の事務局を社会交流センターが担っています。

秋 季 公開講座

「金属工房:銀スプーン作り」 出来栄えに感激

社会交流センターでは、ご婦人向け公開講座として、「金属工房:銀のスプーン作り」講師 鬼頭正信先生(日展会友)と「やさしい中国語と中国の過去と現在」講師 門前哲男先生(元大同高校教頭)の2講座を開講しました。

「やさしい中国語と中国の過去と現在」は、9月30日から毎週土曜日の4回(10:00~11:30)中国事情に詳しい門前哲男先生を講師に迎え、最近、中国旅行された人、行く予定の人などのご婦人方10名が、やさしい日常会話を学びながら、中国の地理・歴史観を通して日本の開拓団32万人の悲惨な結末など過去の過ちの講義を真剣な面持ちで受講していました。

「金属工房:銀のスプーン作り」は、10月7日から毎週土曜日の4回(10:00~12:00)工作実験実習室職員の協力によって、ご婦人17名が不慣れな手付きで金槌を叩いて銀のスプーン作りに挑戦しました。

プレス機械がなかった時代、平板を金槌で叩いて器を作った鍛金技術。この技術を駆使した鍛金芸術家として有名な鬼頭正信先生を講師に迎え、笹銀と呼ばれる純銀の粒を溶解し、塊にしてから焼いては金槌で打つという鍛金の手法によってスプーン作りが行われました。ご婦人方は額の汗を気にしながら自分の思うままに制作に没頭していました。最終日には受講生全員が完成させ、自分が作った銀のスプーンの出来栄えに「どう 素晴らしく上手に出来たでしょう!」感激していました。



新刊著書を語る



地下につくられた小さな宇宙
世界最大の落下施設誕生から10年
(A5版212ページ)

編者:澤岡 昭(学長)
著者:澤岡 昭(学長)他
出版社:地下無重力
実験センター
発行日:2000.3.20



北海道砂川町炭鉱縦坑を利用した全長710mの落下施設「経済産業省の第三セクター 地下無重力実験センター(JAMIC)」が1989年に設立されてから10周年を記念して出版された。

本書は約4000回の落下実験(微小重力実験)の成果を主体として述べられているが、「第2章 JAMIC 建設ものがたり」で落下施設の建設の苦労について、「第5章 流体実験」では、日本無重量総合研究所や航空機を利用した実験結果についても含まれている。また、「第7章 世界の落下施設」では、北海道無重力環境利用促進協議会が中心となって行われた世界の短時間微小重力実験施設の訪問記録がまとめられているなど、微小重力実験に関心あるすべての人に理解できるよう分かりやすく書かれている。



「いつか どんぐりの木が」
イブ・バンティング作
ロナルド・ハイムラー絵

(B5版30ページ)

訳者:橋本博美
(外国語教室講師)
出版社:岩崎書店
発行日:2000.10.31



本書の原作は、平成12年度本学公開講座「英語絵本読書会」のテキストとしても使われた。絵本としては珍しく、有毒化学物質の不法投棄による土壌汚染という深刻な環境問題を扱っている。しかし、コルデコット賞受賞作家であるバンティングはこの社会問題を決して声高に訴えはしない。幼い少女アリスの目を通して、愛すべき榎の老木木の死を静かに描きながらも、新たな命への希望を私達に与えてくれる。文学の永遠のテーマである死と再生の物語を叙情豊かに支えているのはハイムラーの優しいパステル画だ。中日新聞でもご紹介されたが、一人でも多くの子どもと大人に、一緒に読み、一緒に考えて欲しい一冊である。そして、できることなら声に出して読んでみていただきたい。榎の木の葉っぱたちが最後の力を振り絞りながらアリスにささやきかける声が、あなたの心にも響いてくるはずだ。「アリス、アリス」と。トール・ハン冬の推薦図書指定作品。

コンパは欠かせない

～ 建設工学科建築学専攻 光田 恵 講師 ～



実験室の風景

朝 10 時、パソコンの前に座りレポートを作成している者、まだぐっすり眠っている者、今さっき部屋にきたばかりの者達が、いまだ日の差さない実験室で卒研の一日の始まりを待っている。そう、ここは白水校舎学生ホール / 実験室棟の建築温熱・空気環境実験室なのです。光田研究室の一日はこうして始まります。

光田先生の卒研究生は 10 名。現在は次の 6 つのテーマに分かれ研究を進めています。

- ・高齢者施設について
- ・住居内不快臭の具体的対策について
- ・香りについて
- ・電車内のおいについて
- ・住民のおいに対する意識について
- ・新築住宅刺激環境について

しかし、テーマに分かれているものの実験はみんなで行うのが光田研究室のチームワークのよいところ。12:00 ~ 16:00 まで「実験タイム」となっており、みんな一緒に実験を行うとのこと。

また、においの実験に必要な「試料(生ごみ)作り」にコンパは欠かせません。毎月 1 回は「試料作り(?)」に励んでいます。さらに毎年夏休み期間中に O B / O G が集まってのコンパは年中行事の一つになっています。

バイオニア

光田研究室の研究の特徴はその新規性

にあります。

先生が研究しているのは、屋外を含む空気環境、周辺環境。それも人間が評価可能な「快適度」についてです。例えば、高齢者施設のにおい環境の改善、住居内の三大不快臭(生ごみ、タバコ、トイレ)の改善、などです。従来建築の分野では、室内の空気環境 - - 一酸化炭素や二酸化炭素、塵芥の問題 - - しか研究が進展していなかったとのこと。もちろん、重要視はされていたものの、手をつけられてこなかった分野なのです。この分野は、研究がはじまって数年という状況であり、建築分野に限れば数名の研究者しかいないとのこと。また、化学、医学、心理学などとの学際的の分野でもあると先生は言う。

先生が苦勞しているのは、実験をするにも評価指標さえ定まっていな、また測定装置も追いついていない現状。このため、実験手法から考えなければならず、試行錯誤で進めているとのこと。また、実験に使用する装置や消耗品の価格が高いことも先生の頭を悩ませる一つです。記者が見せていただいた一見何の変哲もないガラスの管(低濃度臭気成分吸着管というそうです)が 1 本 20 万円、しかも数回しか使用できないとのこと。小さな測定装置も 1 台 30 万円は下らない。サンプリング袋が 1 枚 2000 円もする。

こういう状況なので、大学から配分される研究予算ではとても今の研究レベルは維持できないといい、外部資金の導入は不可欠であるとのことでした。

苦勞が多い反面嬉しいこともあります。現地調査、アンケート収集などフィールドワークを通して、多くの人との出会いの機会を与えてくれることです。

教育の面でも良いことが多いと先生は言う。前

述の実験を試行錯誤で行わなければならないことが、実は実験手法や評価指標の世界標準になりうることを示しており、学生たちへの動機付けと自信につながっており、さらに、バイオニアゆえマスコミからの取材も多く、昨年のテレビ取材は中部日本放送はじめ 5 社を超え、この時の対応の経験が学生の自信につながっているのだという。

悩み

先生の現在の悩みは、研究室に大学院学生がいな、研究の進展のためには、卒研究生の指導や実験の推進など、大学院学生が欠かせないという。卒研究生の中から大学院に進む者はいないのですかと聞くと、今は就職活動が早まったため、研究が面白いと感じるころには既に就職が決まってしまうとのこと。

1 ~ 2 年生の皆さん、一度光田研究室を訪問してみたいかがですか。きっと面白いと思いますよ。

取材記者のひとりごと

コンパが多いという光田研究室。先生が飲めるほうなのかどうかを聞くの忘れたあ。





～韓国見て歩き～ 一番近くて、 遠い国。



建設工学科
建築学専攻教授
山本 俊彦



▶ はじめの一步

純韓国様式の堂々たる楼門が、このソウルの光化門である。わが国と同様、韓国は歴史と伝統の国である。2002年にサッカーのワールドカップが、日韓両国で開催されるなど、最近相互の交流は盛んである。しかも韓国は、名古屋からわずか1時間半で着いてしまう一番近い外国である。しかし、私にとっては、地理的には一番近い外国ではあっても、これまで遠い国であった。

この9月に初めて韓国を訪問する機会があった。ACI (American Concrete Institute : 米国コンクリート協会) と K C I (Korean Concrete Institute : 韓国国コンクリート協会) が主催するコンクリートに関する国際会議での論文発表のため、ソウルを訪れたのであるが、おそらくこのような機会がなければ、韓国へ行くことはなかったかもしれない。ここでは、会議の内容は別の機会に記すことにして、私なりに韓国の印象などを述べてみたい。

▶ 目からうろこ1: 日本語と韓国語の文法構成はまったく同じ

見知らぬ土地を訪れるとき、多少なりとも言葉や、風俗習慣を調べるのが常である。恥ずかしながら、韓国に関する知識は学校の授業程度である。それで、案内書の類を多少調べたところ、私にとってはいくつかの大発見があった。その1つは、驚くなかれ日本語と韓国

語の文法構成はまったく同じということである。

日本語はウラルアルタイ語族と学校で習ったけれど、なんと韓国語は日本語と親戚ではないか。たとえば、渡辺吉鎔著「基礎ハングル読本」では、以下のように記されている。

숲	속에서는	아침을	일찍	맞이하게	된다.
sup	s'og eso nun	ai'im ul	ilt'ik	madsiha ge	twenda
名詞	名詞 助詞 助詞	名詞 助詞	副詞	動詞語幹 接助語尾	動詞
森(の)	中	で	は	朝	を
				早く	むかえることになる

- 1 主語の有無に関する言語感覚がまったく同じ。
- 2 人称、単数・複数に関する考え方が変わらない。
- 3 語順がきれいに一致する。
- 4 助詞の用法がうり二つ。

さらに、韓国の古い經典には、カタカナ、ひらがなの基ともなるような記載があり、また、漢文の返り点なども記されていることなどを知り、いっそう日本と韓国の言語上のつながりを認識した。また、上記国際会議である韓国人に聞いたところ、その人は日本語の方が英語よりも習得しやすいということであった。さらに、日本へ留学したことのある韓国人は、既に十分な会話力であったが、より上級の日本語を習得したいと意欲的であった。

▶ 目からうろこ2: 万葉集枕詞の秘密

大伴家持の編纂と言われている万葉集のなかにはよく枕詞が出てくる。「あしびきの」、「たらちねの」、「おくやまの」、「あおによし」などである。短い字数の歌などに、名詞を修飾する意味のない枕詞などを用いることには、合理性にかけると学校で習ったときには思ったものであった。ところが、これを古韓国語で読むとその意味が鮮明になってくるのである。

これは、万葉集が古韓国語で書かれているため、李寧熙著「もう一つの万葉集」や「枕詞の秘密」に詳しく述べられている。たとえば、奈良などの名詞につく枕詞「あおによし：青丹吉」は、古韓国語で読むとアオンニ・エシとなり、アオンニはぼっかり空いていて、エシは最上の意味となる。つまり、盆地状の住みやすいところを意味する。当時は、琵琶湖沿岸は鬱蒼とした大森林地帯で、これが後の社寺大建築の用材になりすっかり消失してしまっただけで、奈良盆地はそのなかでぼっかり空いたところであったのだろう。

百済や高句麗の滅亡による膨大な亡命者が日本へ渡ってきたことなどからも、万葉集は日韓共通の大きな遺産かもしれない。

▶ 結婚式の前は映画スター

韓国の若者のなかで大流行しているのが、結婚前に二人で映画スター並に着飾り、カメラマン、照明などのスタッフをそろえて、街の名所で記念アルバムの撮影である。はたから見れば、いずれスターに劣らないほどの見栄えである。

▶ 秀吉の爪あと

会議の後、韓国自慢のセマウル号にのり、新羅千年の古都慶州を訪れた。市街は、サイクリングロードが整備され、ほとんど自転車で回ることができる。しかし、韓国ではサイクリングはそれほど普及しておらず、観光地で試しに乗る程度だそうだ。



写真は仏国寺の紫霞門である。仏国寺は新羅随一の大寺院であったが、秀吉の朝鮮出兵によりそのほとんどが焼失、石の基壇を残すのみとなった。これはその上に再建されたものである。説明文にも、このことが記されており秀吉の爪あとの大きさがわかる。なお、紫霞門も同様であるが、境内の極楽殿の彩色は、日本の権現造りによく似ている。



話は変わるが、韓国はキムチの国でもある。しかし、現在の赤い唐辛子を使うキムチができたのは16世紀以降である。真偽の程はわからないが、秀吉軍によってもたらされた、唐辛子が広まったとも伝えられる。

▶ 古都慶州

高松塚古墳など、韓国の影響が大きいと見られるが、慶州には、寺院と並んで多くの古墳が存在する。筆者が悠然と構えている写真は、その中の女帝の円墳である。松が生えており、ひっそりと静まり返っている。慶州は、紀元前57年から935年まで1000年以上にわたり新羅の首都としてその栄枯盛衰を見てきており、日本の京都にも匹敵する。しかし、京都同様近代化により、その特徴も失われて行きつつある。



さて、21世紀はどんな時代になるだろうか。わずかに対馬海峡を隔てた日本と韓国とは一衣帯水の地、一層の交流が進むことであろう。

平成12年度の就職状況と 3年次生就職担当 教員からのアドバイス

就職指導部長 井上茂樹 教授

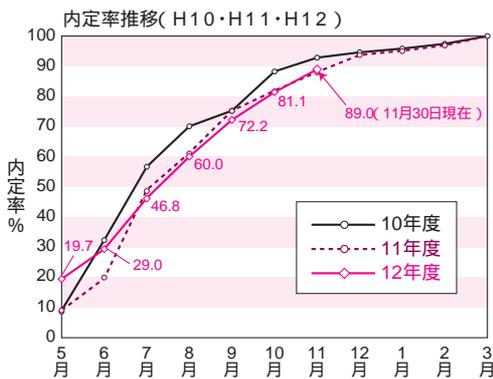


就職ガイダンスで毎回、「4年生になってから活動を始めたのでは手後れになる」と声を大にして言っておりますが、大手企業や上場企業は益々採用時期を早めています。

昨年暮、企業との情報交換の場で、採用責任者は異口同音に、「2月、3月が勝負、4月中には採用を終えます」と言っております。3年生及び大学院1年生の就職戦線は待った無しに本番に突入しています。自分自身と対峙し、悔いのない活動をして夏休み前までには満足ゆく内定を勝ち取って下さい。

1 就職内定状況

厳しい経済状況下において、本学の就職内定率89%と高く、近隣工科大学の就職内定率を今年も上回って推移している。これは、本学卒業生の就職先での活躍が評価されていることが大きな要因である。不況下にあっても、就職内定率の高い大学のキャッチフレーズを来年も高く掲げることができるよう、未内定の学生には頑張ってもらいたい。



2.平成13年度(現3年次生)就職スケジュール

3年次生は2月から企業訪問スタート

3年生の皆さんは自己分析が出来ましたか?自分はどのような職業のどのような職種に向いていると考えますか?自己を知ること、相手方の研究、即ち、業界研究や企業研究が不可欠です。次のステップはいよいよ行動開始、インターネットや会社案内で情報を入手し、積極的に会社説明会やセミナーに参加し、企業訪問を行いましょう。

とわけ2月22日(木)13時からの本学主催の企業説明会には、200社の優良企業をお招きします。必ず出席し、希望の会社にアタックしましょう。

就職試験の最大の難関は面接です。希望する会社に早く合格するには1回でも多く面接試験を受けて面接に慣れることが重要です。13年度は、12年度より更に求人数が減ることが予想され3回程度で合格しないと良い会社には入れないのではと思います。

平成13年度就職指導スケジュール大綱

年 月 日	内 容
1月15日(月)	就職エントリー試験(エントリーシート提出締切)
1月24日(水)~26日(金)	大学院生就職懇談会
1月26日(金)~2月1日(木)	第3回就職ガイダンス(企業研究、企業訪問マナー)
2月8日(木)~13日(火)	就職能力試験(言語・数理)
2月14日(水)~20日(火)	第4回就職ガイダンス(希望職種等記入指導、個人面談)
2月22日(木)	本学主催企業説明会
2月23日(金)~28日(水)	能力試験対策講座-希望者対象
3月2日(金)~15日(木)	公務員試験対策講座(後期)-希望者対象
3月5日(月)~13日(火)	大手・上場企業対策講座-希望者対象
3月16日(金)~21日(水)	面接対策講座-希望者対象
3月23日(金)~29日(木)	第5回就職ガイダンス(面接のマナー、履歴書の書き方)

3 就職担当教員から就職一口アドバイス

機械工学科 山田廣也教授・小野宗憲教授



山田教授

就職戦線は依然として厳しい状況が続いています。企業の求人活動が早まっている現状において、諸君は一日も早く就職活動を開始する事が極めて重要です。そこで、まず自分の就職に対する条件、すなわち自分の就職はどうあるべきかを明確にすることが不可欠です。そのためにはスーパーガイドを活用し、自己分析、自分の将来、自分のやりたいこと、自分のセールスポイント等を紙に書き出して診て下さい。



小野教授

そうすれば、自分の就職活動の方向が見えてくるはずですが、また、就職活動には積極性が極めて必要です。諸君の積極的な就職活動を期待すると同時に、私達も就職指導室と一丸となって支援します。

電気工学科 中井靖男教授



就職、いよいよ皆さんは自分の生活の糧を得るために、これまで身につけた自分の能力を活用する時を目前にしているのです。自立した生活のために収入を得ることは簡単なようで大変なことです。就職活動は先ずこの意味をじっくりと考えることから始めるべきだと考えます。

皆さんはこれまでの長い間、自分の生活をご両親に全面的に支えられて来たものと思います。就職は、このような親の支援から経済的に独立し、自立した社会人となるためのステップです。このステップをスムーズに進めるには、それなりの精神的な成長とそのための努力が必要です。自分の能力を意欲的に社会に提供し、その活動を充実感に満ちたものにするためには、今何をすべきかを自問することから初めてください。

建設工学科 土木工学専攻 棚橋秀行講師



自分は本当は何をしたいのか?3年生でこの答えが出せる人は、残念ながらあまりいなようです。君達は講義・サークル・バイトといった毎日の中で、腰をすえたこのやっかいな問題について考えることを後回しにしがちです。先生や親にせかされて、似たような会社の中から、なんとなくひとつ選んだのはいいが、本気でその会社に入りたいと思えない者がほとんどではないでしょうか。なぜか。それは、君達が自分を知らないのではなく、社会を知らないからです。早ければもう100日後には、君達は他大学の学生と比べられ、ふるいにかかれるのです。早く情報を集めてください。社会を知らなければ、自分のやりたいことも選べません。野球を知らなければ、ポジションも選べないのと同じです。君達のやる気に、期待しています。

建設工学科 建築学専攻 瀬尾文彰教授



建築の場合、仕事の内容が幅広く、業種も多岐にわたっています。建築設計は芸術がかった夢を描くような仕事ですが、その夢を現実のものとするために現場でものづくりを指揮するのは施工管理という仕事です。そのほかにも、マンションなどの開発企画を行うデヴェロッパーと呼ばれる業種や、ハウスメーカー、インテリア、建築設備などさまざまな仕事があります。そのうちの何を自分はやるのか、やりたいのか。そのことをよく考え、自分が納得できる自分の進むべき方向づけを、まず、はっきりさせましょう。

応用電子工学科 岩田晃教授



みなさんが望む企業に就職するためには、相手の就職担当者に如何に自分の価値を100%評価させるかにかかっています。自己の長所をアピールし、他人より優れていると言いける必要があります。実験、演習、授業の中で、自分が独力で調べ、考え、実行したことを他人に良くわかるように説明でき、判断する能力があることをうまくエピソードにまとめておくところへ出て自信をもって発表できるでしょう。みなさんの努力が実を結ぶように有効な方法を見つけ出して下さい。

(就職指導室)



桃介流、出世の秘訣

～米国での傑作演説～

桃介が示した大いなる創意とチャレンジ精神、自由闊達でありかつ合理的な精神、大胆さの裏にある細心さ、世界に目を向けた国際性、困難にあたって発揮される反発力とユーモアなど、私たちが見習うべきところはまことに多い。

桃介が日本電源開発史上画期的な大井ダムと大井発電所の計画を練り上げていた大正12年9月、突如日本の中心部を巨大な地震が襲った。関東大震災である。

日本の経済に致命的な打撃を与えた大震災は桃介をも絶体絶命のピンチに追い込んだ。経済の破壊と金融界の混乱で、大井発電所に必要な莫大な資金を調達する道がふさがってしまったからである。もとより、桃介は八方手を尽くして資金調達に努めたが、如何ともならなかった。資金が得られないなら、工事は中止となり、桃介の大計画は挫折をまぬかれない。

しかし、絶体絶命の困難に遭遇しても桃介の不屈の実業家魂は屈する道を選ばなかった。早くから世界に目を向けていた桃介は、今度は金融の面で海外に目を向けた。すなわち、未だわが国が経験したことのない総額2500万ドルという本格的な外資導入を行うことを決意した。

桃介は、巨大な経済大国に発展しつつある米国から資金を調達しようとした。折しも米国は第一次世界大戦後で、海外からの金の流入過剰で金利は段違いに安かった。けれども、当時米国は排日運動の火の手が高潮していた時であり、また発展途上国の日本がそんな巨額の借金を返済できる保証はなく、簡単に外資が調達できる状況ではなかった。

大正13年5月13日、桃介は横浜からプレジデント・グラント号に乗船した。この折りに桃介が持参したものが珍妙である。越中禪(ふんどし)50本、マニラロープ1本、金貨5千円である。このうち越中禪についてはエピソードがあるが、誌面の余裕がない。

ニューヨークに着いた桃介は、まず一行を連れて教会堂に礼拝に出かけた。当時、日曜日に教会に礼拝に行く日本人などは珍しいことだったので、これはたちまち評判になった。「今度外債の交渉に来た日本人は信仰の深い、敬虔(けいけん)な心情の持ち主」ということになり、信仰心を重んじる米国人の心証がはなはだよくなった。この辺り桃介の芸は細かい。

しかし、こんなことだけで外債募集の交渉がすんなり進む筈もなく、交渉は難航を極めた。ところで、桃介は5千円の高貨を秘書の師尾

と半分ずつに分けて持っていた。これは、アメリカ人は金(ゴールド)が好きだから、何か災難にあった時にはこれで助けてもらおうという積りのものであった。この高貨が交渉で思わぬ役にたつことになる。

交渉がだんだん進んで、外債の返却の話になった時、金を重んじる米国側は金を基準にして返済を求め、日本にその力があるか不安げであった。その時桃介は「日本は立派な金本位制度の国だ。」と大見得を切った上で、ポケットからさも無造作にジャラジャラと高貨をつかみだし、師尾も同様にした。これには米国側はびっくりしてしまった。これを見て米国人は、日本はさも自由に高貨が流通していると考えたらしく、えらく信用を増して無事に外債引き受けの話がまとまった。桃介の機転である。

さて、外債調達のとどめは桃介の名演説である。めでたく外債の話もまとまり、桃介は米国の関係者を招待して感謝のパーティを行った。出席者の面々は、前大統領、上院議員、モルガン財閥支配人、GE社長を始めとする政界、財界の大物ばかりである。この並み居る名士を前に、桃介は大胆、奇抜な演説を行った。

「アメリカは今や世界最大の富強を誇っておられます。連邦準備銀行の金の保有高は120億ドルに及ぶと承ります。その工業は、広い国土と豊富な天然資源を擁して世界に覇をとえられることは、誠に慶賀の至りと存じます。しかし、アメリカは金の毒素によって、今にローマのように衰亡の道を歩くのではないかと恐れます。そのアメリカから金の毒を僅かながら取り出してやろうとする私は、実はアメリカから感謝されてしかるべきと考えます。」

これが借金に来た人のことばだろうか。秘書の師尾はハラハラして見守った。彼の書いた挨拶原稿は完全に握りつぶされている。

「さらに、この次には又皆さんに喜ばれることをしに、この国にやって参ります。この次はアメリカに金を貸しに参ります。」この桃介の、ハツリともとれないこともないスピーチは、しかし出席者に大いに受け、喝采を受けた。

気が狂ったかと評されながら、「木曾川の水

をせき止めてみせる。」と豪語した桃介が見事にそれを成し遂げたように、桃介の山をも動かす気迫と周到な用意と、さらには機転が、この困難な外資導入を実現した。

桃介が直接に心構えとして後輩に示したものがあつた。その一つは「互戒十則」で、これはすでに2000年1月号で紹介した。

桃介が「桃介流」の「出世の秘訣」として示しているものを最後に紹介しよう。時代が違うので、ちょっと今日の風俗に照らすとピンとこないところもあるが、そのココロを汲み取って現代版に翻訳すれば、社会に出て行く皆さんへの桃介からのなむけの言葉になるかもしれない。

訪問した時の心得 まず取り次ぎをトリコにせよ。

応接間に通されて 決して長居するな。先方に多くしゃべらせよ。先方に用の出来たときは速やかに帰れ。

上役の性質を知れ。上役より先に帰るな。勉強を見せかけよ。

月給で暮らすようにせよ。収入から天引きして貯金せよ。

桃介はことばを飾らない。俗っぽい表現で、平易で実際的な心得を説いている。

9回に渡って、本学のルーツともいえる天才実業家福沢桃介の人と業績を紹介してきたが、今回をもって一応幕を閉じることにする。桃介には機知に富んだエピソード、生い立ちや義父福沢諭吉や大女優貞奴との逸話など、語るべき話は限りがないが、今回のシリーズは一応の幕としたい。

- 第1回 1998年7月号 - 桃介記念館
- 第2回 1998年10月号 - 重要文化財桃介橋
- 第3回 1999年1月号 - 企業家精神の魂
- 第4回 1999年4月号 - 恵那峡に立つ桃介
- 第5回 1999年7月号 - 電力王(2)
- 第6回 1999年10月号 - 電気製鋼業を開拓
- 第7回 2000年1月号 - 桃介の十戒
- 第8回 2000年10月号 - 東海道新幹線を構想

【参考資料】

宮寺敏雄著「財界の鬼才～福沢桃介の生涯」

福沢桃介(ももすけ)とは 明治から昭和にかけて名古屋を中心に電力・鉄道・製鋼の事業に活躍した天才的な実業家。本学の創立は昭和39年であるが、前史をさかのぼれば、昭和14年大同製鋼による大同工業学校の設立に、さらには大同製鋼の創立者でもある福沢桃介に至る。桃介の溢れる創意とチャレンジ精神、合理的な思考と国際的な視野には学ぶべきところが多く、本学の「学祖」と言ってもいいかもしれない。なお、福沢諭吉のむすめとしても知られている。

CR C ニュース

10～12月に下記の展示会に積極的に参加し、多数の参加者の来場を得、大いに大学のPRを行いました。同時に産学連携共同研究センターもはじめて出展し相談コーナーを設けて、企業との共同研究の推進に一役買いました。今後もこういった展示会を有効に活用し、企業との交流を活発に進めていきたいと思っています。

中部エレクトロニクスショー 2000



日時:10月25日(水)～28日(土)
場所:名古屋市中企業振興会館

「産学官出会いの広場」に应用電子工学科和田隆夫教授・藤本博助教授研究室が出展され、多数の参加者の来場を得ました。

産学交流プラザなごや



日時:11月28日(火)～29日(水)
場所:名古屋市中企業振興会館

应用電子工学科和田隆夫教授、電気工学科藤田順治教授、電気工学科近藤芳孝教授、機械工学科西堀賢司教授、機械工学科松浦章裕助教授、应用電子工学科堀尾吉巳助教授研究室が出展し、産学交流に大いに寄与されました。

産学連携共同研究センターも出展し、大学およびセンターの紹介をしました。

特許流通フェア in NAGOYA



日時:12月14日(木)～15日(金)
場所:名古屋国際会議場

建設工学科太田福男教授、機械工学科杉浦正勝教授研究室と産学連携共同研究センターが出展しました。

理事長の来場もあり、盛況でした。

(産学連携共同研究センター)

後援会だより

教育懇談会、今年も多数の参加で盛り上がる

本学後援会(会員数:約3,500名)が主催する教育懇談会が、今年も9月から11月にかけて各地で開催されました。

この会は全学生のご父母の皆さんに対して行っている最大の行事の一つであり、学長をはじめとする大学教職員が参加して、次のような内容を提供しています。

(1)大学の現状や将来計画、日常生活、就職など進路に関する最新情報の提供
これらについて、スクリーンを用いたプレゼンテーション形式による説明が行われました。特に大写しになった大学新キャンパスの様子は注目を集めていました。

(2)学生の最新の成績表をもとにした、父母と教員の1対1の面談
指導教員はもとより、面談を担当する教員もこの日のために個々の学生の様子について予習したうえで臨んでいます。

面談は主として前期における成績表をもとに行われました。父母から「きちんと授業に出席しているか」「現在の成績で順調に進級・卒業ができるか」といった質問が集中し、会場は熱気にあふれていました。

(3)打ち解けた雰囲気の中での懇親パーティー
さらなる親睦を深めるために立食形式で懇親会が行われました。ご父母と教職員が日常の学生生活や、履修や奨学金などに関してさまざまな情報交換をおこなう場面が数多く見られました。

各会場のアンケートには、「もっと早い時期から参加していれば良かった。」「大学での子どもの様子がよく分かるので、非常にありがたい企画だ。」「学長の人柄に惹かれた。」「他大学にない、温かみのある後援会や教職員の対応があるので毎回の懇談会が楽しみ。」「先生方への親近感が湧いた。」など、きわめて好評のうちに終了したことが伺い知ることができます。

なお、次年度もさらに有意義な内容となるよう実施する予定です。一人でも多くの方がご参加下さいますようお願いいたします。(庶務室)



本館クリスマスイルミネーション

クリーン
キャンパス
ひろげよう!
クリーン
キャンパス

キャンパスカレンダー

1月

22日(月) 補講期間(23日まで)
24日(水) 後期定期試験期間(土日除く2月8日まで)
大学院生就職懇談会(26日まで)

2月

3日(土) M方式入学試験
6日(火) 前期入学試験(A日程)
7日(水) 前期入学試験(B日程)
9日(金) 後期追試験期間
(休日除く2月16日まで)
19日(月) 大学院後期入学試験(博士課程)
20日(火) 大学院後期入学試験(修士課程)
22日(木) 後期試験結果通知書配布
・異議申請受付期間(23日まで)
25日(日) 後期推薦入学試験・後期社会人推薦入試

3月

6日(火) 後期入学試験・委託生入学試験
22日(木) 学位記授与式・卒業パーティー
23日(金) 学修指導期間(土日除く27日まで)
28日(水) 在学生オリエンテーション(30日まで)
29日(木) 在学生健康診断(休日除く4月2日まで)

4月

4日(水) 入学式

編集後記

とうとう21世紀になったね。

14階建ての本館から、初日の出を見たいよ。天候が思わしく無い日が続いていただけ、本学の21世紀幕開けに相応しく元旦の日の出はバッチリ拝ませて頂けたよ。感激したね。さあ21世紀だ、頑張ろう!

社会交流センター

E-mail: pccir@daido-it.ac.jp

大同工業大学ホームページ

http://www.daido-it.ac.jp/